

教科 科目名	地理歴史科	単位数(週あたりの授業時数)		3 単位
	地理探究	履修学年(類型)	2 学年	
教科書名(出版社名)		新詳地理探究(帝国書院、地探702)		

●学習到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4月	地形	大地形や小地形などのさまざまな地形にはどのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのだろうか。
	5月	気候・日本の自然環境	世界や日本の気候の違いはどのような要因で生まれるのだろうか。また、人々の生活や自然災害にどのような影響を与えているのだろうか。
	6・7月	農林水産業・食料問題	農林水産業の分布や発達にはどのような傾向や規則性がみられるのだろうか。飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域だろうか。また、その原因は何だろうか。
2	9月	資源・エネルギー	エネルギー・鉱産資源はどのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのだろうか。
	10月	工業	世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのだろうか。
	11月	第三次産業	第3次産業の現状はどのようになっているのだろうか。
	12月	交通・通信・観光	なぜ交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れているのだろうか。また、観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのだろうか。
3	1月	人口	世界各地の人口の分布や年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるのだろうか。
	2・3月	村落・都市	人々はどのような場所に居住し、村落や都市を発達させてきたのだろうか。その立地や形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、また、国や地域によって異なる地域性についてとらえよう。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	諸事象に関して理解し、資料から様々な情報を調べ、まとめる技能を身につけている。	諸事象相互の関連を概念などを活用して多面的に考察したり、それらを効果的に説明したりできる。	知識等の習得に向けて粘り強い取り組みを行おうとしたり、自らの学習を調整しようとしている。
B	諸事象をおおむね理解し、手助けを受けながら、情報を調べ、まとめることができる。	諸事象相互の関連を多面的に考察したり、それらを順序立てて説明したりすることがおおむねできる。	知識等の習得に向けて取り組んだり、自らの学習を調整しようとする姿がおおむね見られる。
C	諸事象への理解が乏しく、資料から情報を調べ、まとめる技能が身につけていない。	諸事象相互の関連を多面的に考察できず、それらを効果的に説明することが難しい。	知識等の習得に向けた取り組みや、自らの学習を調整しようとする姿が見られない。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査によって出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。 ○ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。 ○ 学習活動の様子や発表、討論、授業プリントの記述などの内容を評価のための資料とする。 ○ 単元ごとに行う自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とする。 		
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$